



Make Dreams Real 夢をかたちに

地区テーマ 楽しいロータリーで、仲間を増やそう

本クラブテーマ 実践と充実感

国際ロータリー2800地区 鶴岡ロータリークラブ

第2458回(本年度第45回)例会 2009.6.16

●例会日/毎週火曜日(12:30~13:30)

●例会場/東京第一ホテル鶴岡
鶴岡市錦町2-10 Tel. 0235-24-7611

クラブホームページアドレス <http://www.tsuruokarc.org/>

会長報告

樋渡 美智子

- 6月9日(火) 新旧会長・幹事会
第2ブロック新旧会長・幹事・AG・事務局出席。
- 6月13日(土) ローターアクト地区大会
本間喜美子さん、富田喜美子さん、会長出席。
酒田市、総参加者数:60名
- 6月14日(日) 寒河江 RC 創立50周年記念式典
藤川、塚原、丸山、佐々木、若生、佐藤孝子の各氏と会長出席。出席者総数約300名。

◆東京への人口集中

今朝の新聞から。130年前(明治13年)の日本の都道府県別人口データによると、東京府は95万9千人、山形県は68万人。東京は全国で17番目。現在の47都道府県で見ると最多は新潟県。これは食糧自給が基本とあって、食料の確保が先決になり、人口を左右したからだと言う。

中学時代(昭和28年)修学旅行は憧れの東京であった。宿泊は上野。夕方から親類縁者の面会が許可され、外出が出来る。東京に親類縁者のいない家庭は、この日のために神奈川など周辺から面会に来てくれるように頼んでいた。

我が家には、都内は勿論、周辺にも親類縁者は誰もいない。面会予定のない生徒は、確か2名。母は見かねて、全く面識のない母の知人に面会を頼もうかと言うが、断った。

当日、親しい友達が誘ってくれ、友人の面会人とともに外出する人になる。今や、産業の構造、社会基盤の整備、食料輸入などにより都市が肥大化し、情報では、東京都は年間10万人増えているそうである。近所の家々も殆ど東京や大都市圏に関わりを

持っている。我が家の娘も東京。

幹事報告

越智 茂昭

- 内川清掃奉仕作業
日時:7月5日(火)6時~7時
集合場所:七日町 観音堂
清掃区間:神楽橋から鶴園橋
※終了後「スカーゼ」にて朝食会

新入社員の「うつ」対策

山形日産自動車販売(株) 代表取締役社長 早 寄 弘

今日は「鬱」について、5年前に私が経験したことをお話します。5年前私はジェネラルマネージャーとして、450名の組織をみていました。毎年新卒者20名くらい採用していましたが、その中で多くの人がうつの状態に陥ります。営業マンの部隊で、直行直帰制度を採用していました。そのため上司に相談する時間が少なく、直接つながっているのは会社から与えられた携帯電話、パソコンです。それでメールをしたり、報告書を上げたりします。効率を追求した結果、自宅からお客様へ直接行くシステムです。全員ではないのですが、うつになる人が増えてきて、このままではいけないと感じていました。私はうつ病に陥りそうな人全員と面談をしてみました。その中である共通点が見えてきました。新入社員では優秀な成績できている人が多いということです。仕事を与えれば的確にこなせる人達ですが、社会でもまれていけば競争に勝てない場合も出てきます。社会に出たばかりの者がベテ



6月は... ロータリー親睦活動月間

出席報告

会員数	46名
出席	32名
出席率	76.19%
前々回確定出席率	80.95%

■RI会長 李 東 建 ■地区ガバナー 武田和夫
■会長/樋渡美智子 ■副会長/佐藤孝子 ■幹事/越智茂昭
■会報委員会/松井 亨・北川米三



祝 記念大会成功
創立50周年

事務局:鶴岡市馬場町11-63鶴岡産業会館3階 TEL (0235)28-3375 FAX (0235)28-3376 E-mail:tsuruoka08@rid2800.jp

そこで去年と今年の新人社員 40 人を集めて、会社に対する不満を全部書き出してもらいました。それを集めて分類して整理すると、お互いに同じ経験を持っていて、たくさん同じ問題が出てきた。これで安心します。グループ毎にこうしたら会社が良くなりますという発表をしてもらいました。会社も出来る事出来ない事があるので、出来ないことは説明をする。その後食事会をしました。そこでも話ができて彼らのネットワークができます。かつてこういう事は自分達でして来たことです。携帯やパソコンは確かに便利ですが効率だけを追求するといろいろ弊害が出てくるのだなと今感じています。大事なものは人と人の繋がり、マンツーマンでお互いを知り合うということが大事だと思いました。山販でも面談をしています。効率を追求するのではなく、自分の目標を語ってもらいアドバイスすることがあればしていくということをしています。庄内で今後ともコミュニケーションを大事にしながらやって行きたいと思っています。

米山奨学会については、既に皆さんご存知のこと
 と思います。どうか次年度もご協力のほどをよろし
 くお願い致します。

嶺岸禮三君 50周年記念誌させていただき有難うございました。石田先生大変ご苦労さまでした。ノラさん再会でできて嬉しく思います。